



【野球】太田市職労 霊峰富士の麓で準 V 今秋全国大会へ



8月2日(火)～3日(水)、「関東甲地区自治体等職員スポーツ大会」が山梨県(山梨県富士北麓公園野球場、都留市総合運動公園楽山球場)にて開催され、太田市職労(太田市役所軟式野球部)が準優勝を果たし、9月に新潟県で開催される全国優勝大会への出場を決めた。

今大会の出場チームは関東甲8地区の各都県予選を勝ち上がった代表(9単組)及び開催地代表枠(1単組)の合計10単組で、太田市職労は群馬県代表として出場。トーナメント方式による順位決定戦が行われ、全国優勝大会へは上位3チームが出場できる。

2日(火)、初戦となる小山市職労戦では3回裏2番田口(文化課)のヒットや5番田村(花と緑の課)のセーフティスクイズなどで得点。8回には、7番新井(生涯学習課)のソロホームランで試合を決めた。守っては先発清水(太田市勤労者福祉サービスセンター)が得点を与えず完封で締めくり、2-0で白星を上げ、翌日の準決勝へ駒を進めた。

3日(水)準決勝は日立市職労戦。太田市は1回、6番田村のタイムリーなどで、3点を先制。日立市も1回と6回に反撃するが、太田市は7回に9番宮下(スポーツ振興課)と2番田口のホームランなどで突き放し、12-2の7回コールドで決勝進出を決めた。

決勝戦となる柏市職労戦。1回裏、太田市は1番山本(スポーツ振興課)の三塁打を足掛かりに、1点を先制。3回表、柏市は連打で同点に追いつきつつ、続くタイムリーヒットで2点追加し、逆転。さらに5回表、相手のツーランホームランで追加点を許してしまう。7回裏、太田市は2者残塁などチャンスを活かさず、逆に、柏市は、9回にも1点を追加。太田市は、9回裏、7番新井がホームランを放ち、意地をみせるも一歩及ばず2-6で敗戦。準優勝となった。

太田市職労(太田市役所軟式野球部)は関東甲地区代表として9月8日から新潟県で開催される全国優勝大会に出場予定。全国に名を轟かせる活躍を期待したい。

※文章『じちスポ山梨3号』『じちスポ山梨4号』より抜粋、一部改変。

/// 還元事業を実施します ///

新型コロナウイルス感染症の影響により今期もディズニーツアー等の文体事業を見送ったことを受け、全組員を対象に還元事業を実施することとなりました。概要については以下の通りです。

【内 容】 JCB ギフトカード配布

【金 額】 正規組員：3,000 円 / 人、賛助会員（公的賛助含む）1,000 円 / 人、臨囑組員：1,000 円 / 人

【実施時期】 8月下旬～9月初旬

連合群馬でともに活動している群馬トラベルを通じてギフトカードを用意いたします。各職場ごとに職場委員を通じて皆様にお渡しする予定です。

八木田県議ってどんな人？

vol.3

review



八木田やすゆき県議と太田市職労とのあゆみ

今年、県議当選 1 期目を満了する八木田やすゆき議員。元太田市職員であり太田市議会出身でもある八木田議員は、我々太田市役所職員労働組合の声を代弁する組織内議員。今号では引き続き、八木田県議の過去の大きな功績を振り返り組織内議員の有効性について考えたい。



▲前回の記事はこちら

八木田 恭之（やぎた やすゆき）

学歴 県立太田高校・東洋大学

職歴 1985 年太田市役所入職

2014 年太田市役所退職

2015 年太田市議会議員

2019 年群馬県議会議員

太田市役所職員労働組合特別執行委員

太田市ラグビー協会会長

職員の修学部分休業制度、導入 「働きながら学べる」実現へ

地方公務員は、地方公務員法で定めるところにより、「大学その他の条例で定める教育施設における修学のために必要な期間として、1 週間の勤務時間の一部について勤務しないこと」が認められている。この法整備がされて以降、県内他市においては条例等の整備を行ったが、太田市職労として要求したものの、当時は条例を整備した自治体の中で隣接する伊勢崎市の職員が東京大学公共政策大学院に通学するために取得した例しかないことを取り上げ、ニーズが少ないと進展がなかった。

前回紹介した配偶者同行制度と高齢者部分休業制度の条例整備に伴い、足並みを揃える形でこの修学部分休業制度が導入された。八木田県議の行動の結果、今まで検討中になっていた条例整備が一気に進展したと言える。（余談だが、その伊勢崎市の職員は後に現職人事係長（課長補佐）として『公務員が人事異動に悩んだら読む本』を執筆しており、人事異動の仕組みが分かるのでどのように人事異動が行われるのかに興味がある人は一読することをお勧めする。）



大学等の教育機関で学ぶ・学び直すことはスキルアップや自己啓発に繋がるはず！
働きながらというのは少し大変ですが、
興味のある方は制度の利用を検討されてはどうでしょうか。

やぎた 恭之

太田市職労組織内議員（群馬県議会議員）

や す ゆ き

One for all, All for one

